

# 新体操女子 近畿高校選手権大会 審判員報告書

2024年6月8～9日（土～日）

滋賀ダイハツアリーナ

## 1. 採点上打ち合わせた事項

### 《個人クラブ DB》

- ・身体難度の誤差の確認
- ・Wのカウントの確認

### 《個人クラブ DA》

- ・風車を正しく実施されているか
- ・高い投げか低い投げかの見極め
- ・アクロバットの数

### 《個人リボン DB》

- ・Wの足から頭まで動いているか

### 《個人リボン DA》

- ・螺旋と蛇形のベースが4～5個あるか
- ・背面の基準の確認

### 《個人 A》

- ・落下したときに統一性の減点について
- ・曲の不一致について

### 《個人 E》

- ・映像を見て、DBの誤差を中心に目線を合わせました

### 《団体 DB》

- ・交換の高さの見極め
- ・フェッテの手具操作
- ・回転の重複

### 《団体 DA》

- ・禁止アクロバット
- ・18個を超える連係
- ・主要人物が動作しているか
- ・視野外の位置
- ・手以外が出来ているか

### 《団体 A》

- ・映像研修で目線を合わせた（動きの特徴の基準、ステップのカウントの確認）

### 《団体 E》

- ・身体難度の誤差確認
- ・移動歩数の確認

## 2. 採点上起こった事項とその処理

#### 《個人クラブ DB》

- ・ 手具操作の重複→後屈時に突き操作の位置：重複した難度をノーカウントにした
- ・ フェットピボットの回転不足の認識が違った→中間でとる、または歩み寄った

#### 《個人クラブ DA》

- ・ 小さな2本投げでクラブが360°回っていないケースがあったため、その場合はノーカウントとした
- ・ フェットピボットの最後の回転の不足によってDAがノーカウントとなった
- ・ バランス中のDAにおいて静止がないケースが多くノーカウントとなった
- ・ 座の位置が不明確なケースが多くノーカウントとなった
- ・ 視野外の位置が不明確なケースが多くノーカウントとなった

#### 《個人リボン DB》

- ・ ドゥバンフェットの回転数とイリュージョンのR（シリーズ）において、ホップや回転の向きで見極めが分かれたが、歩み寄って合わせた
- ・ コンバイン難度で流れている選手もいたので見にくさはあったが、認識の大きなずれはなかった

#### 《個人リボン DA》

- ・ ブーメランの引きが確実に行えてなかった→落下によって基礎技術の減点が入った
- ・ 螺旋、蛇形のベースの不正確な実施により、カウントできなかった
- ・ ベースが実施できていても、視野外や回転の基準が正確じゃなかった

#### 《個人 A》

- ・ ステップの8秒が足りずカウントできないところがあった
- ・ 採点中、ラストの曲の不一致について確認することがあり、以降は大丈夫であった

#### 《個人 E》

- ・ 両種目落下が多く高難度を狙いにいたりコマ数を増やしている選手が多くみられました
- ・ DBの誤差に対する引き方が合わなかった際に審判長からの集合をかけられることが数回あった
- ・ コンバインの2難度目がバランスの場合、静止が甘かったり形が不正確なものが多かった
- ・ リボンの描きは全体的に甘かった
- ・ DAの基準に関わる0.1のDB（カットジャンプなど）が誤差で減点が勿体なかった
- ・ ターンジャンプの回転が重なってくると着地や上半身の歪みが気になった
- ・ RやDAの投げの時にその場で無駄足を踏む選手が数名いたのが勿体なかった

#### 《団体 DB》

- ・ Wの途中でフープも身体も止まり、Wとみなすことが出来なかった
- ・ ドゥバンフェットを、5名全員が最後まで正しく実施できていないチームが多かった
- ・ ジャンプ中の手具操作が不明確なものがあり、ノーカウントとなった
- ・ Rの回転不足があった
- ・ 交換の落下のタイミングの見極め
- ・ 軸回しで迷ったケースがあった

#### 《団体 DA》

- ・視野外を取るか取らないかで点が開いた
- ・+0.3 の通過が空中でくぐりぬけていられないところを取りすぎた
- ・基礎の転がしが飛んでしまったりして減点が入ることがあった
- ・同時投げの視野外になる位置で手を離せていたか、見極めが難しかった
- ・同時投げの高さと距離の両方無いことがあり勿体なかった
- ・CC の関係とか明確でなく見えにくいものがあった

#### 《団体 A》

- ・演技 1 番のチームで視線を合わせた
- ・採点での気付き
  - ステップが不十分（短い）なチームがあった
  - 次の関係や難度の準備に入ってしまった
  - ダイナミックな変化も動き、表現が不足のためカウントできない場面があった
  - コーラルがポーズの作品があり、カウントしたがポーズにテーマ性があるのか？  
コーラルを踊っている作品との評価の差が無いことがルールの課題と感じた
  - 全体の構成としてはつなぎの表現がテーマ性のある作品と、ただ動いている作品との差のつけ方に悩んだ
  - 5.0 前後の演技が採点難しかった
  - 終了時の音楽減点は無かった
  - 4 秒を超えての手具無し減点のチームがあった

#### 《団体 E》

- ・四肢の減点の多いチームに移動、落下が多く出た場合の減点をしきれなかった
  - ルールに従い減点を行った
- ・両手キャッチ、上腕受け等の不正確な受けが多い
- ・不正確な転がしが多い